

< 政策の基本的態度 >

先般とりまとめた「改革加速のための総合対応策」を着実に実施。

現下の金融・経済情勢に応じ構造改革の取組への更なる政策強化を行うことが必要であるとの認識の下、この総合対応策を補完・強化するため、12月12日に「改革加速プログラム」を決定。

補
完
・
強
化

財政規律を守りつつ、平成14年度補正予算を編成し、年度を通じた切れ目のない対応を図る。

11月29日には、昨年度に引き続き「改革断行予算」を実現するとの方針を示した「平成15年度予算編成の基本方針」を閣議決定。

デフレ克服及び金融システム安定化に向け、政府・日本銀行は引き続き一体となって強力かつ総合的な取組を行う。